バセドウ病 05

手術を受ける方へ

最も確実で、効果が早く出る治療です。再発の心配がほとんどなくなる代わりに、ホルモンの薬を続けることになります。

Q どんな手術ですか

甲状腺をすべて取り除く方法（全摘）が勧められています。以前は一部を残す方法（亜全摘）も多く行われていましたが、**残した部分から再発することがある**ためです。甲状腺の状態や施設によっては、ごく一部を残す方法をとることもあります。

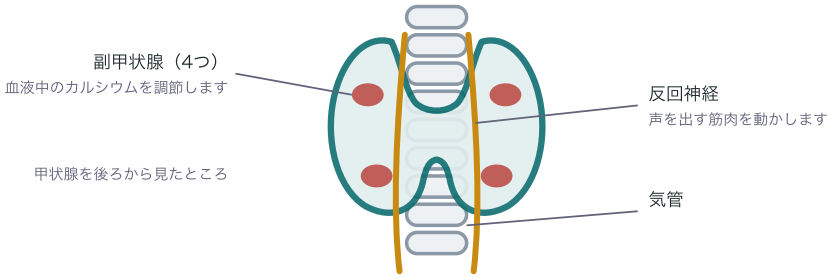
全身麻酔で行い、首の前を横に切ります。**入院は術後5日から1週間ほど**が目安です。

Q 手術の前にすること

甲状腺の働きが強いまま手術をすると体に負担がかかるため、**まず値を落ち着かせます**。

- 抗甲状腺薬で甲状腺の働きを抑えます
- **手術の2週間ほど前から、ヨウ素の薬（ヨウ化カリウム丸）を飲みます** — 甲状腺の血流を減らし、手術をしやすくするためです

Q 起こりうることを知っておいてください



甲状腺のすぐ裏に、副甲状腺と反回神経が接しています。ここが手術で影響を受けることがあります。

- **声がかすれる** — 反回神経が影響を受けたとき。**多くは一時的**で時間とともに戻りますが、**数%の方では戻らないことがあります**
- **手足や口のまわりがしびれる** — 副甲状腺の働きが落ち、カルシウムが下がったとき。**カルシウムの薬で補います**。こちらも多くは一時的ですが、**1〜2%の方では薬を続けることになります**
- **首に傷あとが残ります** — しわに沿わせて切るため目立ちにくくなっていきますが、消えるわけではありません

Q 手術のあとはどうなりますか

甲状腺を取り除くため、**甲状腺ホルモンの薬を生涯飲み続けます**。足りない分を補うだけの薬で、1日1回です。

そのかわり**再発の心配がほとんどなくなり、頻繁な通院や検査からも解放されます**。のどの腫れも解消します。

出典：日本甲状腺学会 バセドウ病治療ガイドライン2019（南江堂）

診療目的での複製は自由に行えます。